



風は海から

令和6年1月31日
横浜市立西富岡小学校
学校だより
2月号

一人一台端末

横浜市立西富岡小学校
副校長 棟朝 一機

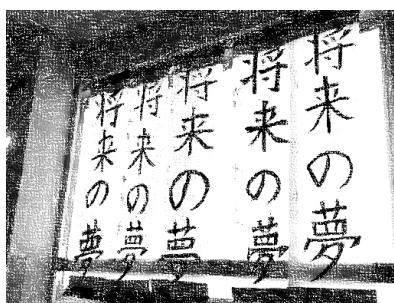
2012年のクリスマス。アメリカで、母親が13歳の息子にスマホを与えるときに交わした「18の約束」が話題になりました。多くの親たちに支持された背景には、子どもに端末を与えることへの不安の大きさがあると言えます。その一部をご紹介します。

- ①これは私のスマートフォンです。私がお金を払って買って、月々の料金も払ってあなたに貸してあげているのです。私ってとってもやさしいでしょ？
 - ④学校のある日は午後7:30に、休日は午後9:00ちょうどに、親にスマートフォンを渡すこと。次の朝7:30まで電源を切っておきます。固定電話で、電話すべきではない時間に、メッセージやメール、電話で話すことはいけません。お互いの家族のプライバシーを尊重しましょう。
 - ⑦スマートフォンを使って嘘をついたり、人を馬鹿にしたり、だましたりしないこと。他人をいじめるような会話に関わらないこと。
 - ⑧人に面と向かって言えないようなことを、スマートフォンを使って伝えないこと。
 - ⑨友だちの親の前で言えないようなことを、スマートフォンを使って伝えないこと。よく考えてください。
- (原題は「Gregory's iPhone Contract」)

さて、本校は今年度から子どもたちの学習の充実を図るため、教育委員会の協力のもと試行的に一人一台端末持ち帰りを行っています。基本的なルールは以前にお便りでお知らせしました通り、「時間を守って使用すること」「学習以外には使用しないこと」「マナーを守って使用すること」など、学校内のタブレット使用ルールとほぼ同様です。上記の「18の約束」と共通する部分も多いと感じます。

現代の生活において、なくてはならない存在となったスマホやタブレットなどの端末機器。子どもたちも将来的には、端末を使用する機会が増えていくことが予想されます。初等教育である小学校の学習活動の中心は、読むことや書くこと、話すこと、聞くこと、計算すること、自分自身で考えることなどであることに変わりはありません。子どもの学習をサポートする便利な学習ツールとして試行錯誤しながら有効活用していけたらと思います。ご家庭のご理解、ご協力をお願いいたします。

校内書初め展 1月15日(月)～1月19日(金)



3～6年生は、体育館で書初めを行いました。いつもより大きい条幅紙に向き合う子どもたちの姿は、とても真剣でした。新年を迎え、今年一年間のやる気と思いを込めて書いた作品は、どれも素敵でした。

防犯教室

3年生 12月21日(木) 4年生 1月11日(木)

5・6年生 1月18日(木)

3・4年生はALSOKの方をお招きして出前授業を行いました。3年生は「安心してお留守番」、4年生は「安全な街ってなんだろう」という内容で、グループワークを通して、安心安全な暮らしの為に必要なことを考えました。

5・6年生はKDDIの方をお招きして、ネット利用でのトラブルの動画を見て、正しい使い方について考えました。

これからの生活の中で生かしてほしいと思います。



4年 起震車体験 1月16日(火)

富岡消防出張所の方に来校いただき、起震車体験を行いました。実際に震度6強の揺れを体感した子どもたちは、「立ってられないくらい揺れた。」「すごく揺れて驚いた。」などの感想を言い合っていました。いつ起こるか分からない自然災害からどのように身を守るのか考える機会となりました。



給食週間 1月15日(月)～19日(金)

全国学校給食週間は1月24日から30日ですが、西富岡小学校では少し早めて、15日から19日までを給食週間として取り組みを行いました。給食委員会の児童が、給食の上手な片付け方や食べ物の働きに関する動画を作成しました。また、各クラスでは、調理員さんへの感謝の気持ちを伝えるために、寄せ書きを作りました。給食週間中は、給食室でのあいさつもいつもより大きな声

が出ているクラスが多かったように思います。

これからも食の大切さを考え、毎日おいしく食事をする事ができることに感謝の気持ちをもって過ごしてほしいと思います。

3年 森永工場見学 1月17日(水)



社会科学習の一環となる校外での学習をしてきました。実際に生産ラインの機械を見たり、工場で働いている人に関するお話を聞いたりすることで、今まで学習してきた内容がより深まりました。真剣な表情で工場の仕組みを学んできました。帰りには横浜市の代名詞というべき「みなとみらい」の街並みもバスの車窓から見学し、今、学習している「横浜市のうつりかわり」の現在の姿を確認することもできました。実り多い校外学習となりました。

4年 心の教育バレエの世界鑑賞 1月22日(月)



はまぎんこども宇宙科学館では、プラネタリウムを鑑賞しました。子ども達が満天の空を見上げながら食い入るように話を聞いている姿が印象的でした。そして関内ホールでは、東京バレエ団によるバレエ「ドン・キホーテの夢」を鑑賞しました。一つひとつのポーズがとても美しく、技術の高さやバレエの舞台のすばらしさを体感することができました。バレエを観るのが

初めての児童も多かったですが、最後まで楽しむことができました。

児童支援専任だより

小澤 卓也

大寒を過ぎ、朝晩の冷え込みをますます感じる季節となりました。「大寒」は例年1月20日ごろとされ、二十四節気のうち冬の季節の最後の節気にあたります。暦の上では小寒から立春までの30日間を「寒の内」といい、大寒はそのまん中にあたります。寒さがさらに厳しくなり、1年中で最も寒い時季です。この時季には古くから寒稽古など、耐寒のためのいろいろな行事が行われてきました。寒い中ですが、学校でも体育や休み時間に校庭に出て縄とびをしたり元気に遊んだりしている子どもたちの姿が多く見られます。

さて、風邪やインフルエンザなど感染症防止対策の強化のため、学校では子どもたちへの手洗いの励行や生活習慣を指導して予防対策に努めています。乾燥注意報も毎日のように出ているので、ご家庭では手洗いでだけでなくうがい等の声かけを続けていただけると幸いです。

最後に、みなさまの声かけて、ポケットに手を入れたまま歩いたりフードをかぶったまま歩いたりする子どもが少なくなってきました。ありがとうございます。引き続き登下校の際には、天候に合わせて手袋や帽子、ネックウォーマー等を上手に活用して防寒に努めてください。

子どもたちの安全と安心のために、ご理解とご協力をお願いいたします。